

長期志向の投資家を 引きつけるIRとは!

— 資本市場の新潮流に対応した情報開示とレポーティングのあり方を考える

近年、国内外の資本市場では、発行体と投資家との関係性に大きな変化が生まれています。長期志向の投資家は、財務情報に偏重しない企業価値評価に努め、一方で発行体は、持続可能な成長に向けた経営の実践と、統合思考の情報開示やレポーティングへの挑戦を始めています。こうした環境変化を踏まえ当セミナーでは、長期志向の投資促進により、企業の持続的な価値創造を後押しする各方面のキープレイヤーを国内外から迎え、日本企業への期待や課題について議論を進めます。

日 時 2014年9月5日(金) 13:30~17:30 (受付開始13:00)

会 場 大手町ファーストスクエア Eastタワー 2階セミナールーム

東京都千代田区大手町 1-5-1 (アクセス:<http://www.1ofsc.jp/access/>)

- 東京メトロ:千代田線/東西線/半蔵門線/丸の内線、都営地下鉄:三田線「大手町駅」C8・C11・C12出口直結
- JR「東京駅」丸の内北口から徒歩4分

対 象 上場企業のIR、広報、経営企画、CSR部門の方

- 申し訳ございませんがIR支援会社など同業の方のお申し込みはご遠慮いただいております。

定 員 100名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

受講料 ¥5,000 (日本IR協議会の会員企業様は¥3,000にてご参加いただけます)

登壇者 Ms. Karin Ri氏 Hermes Fund Managers Limited / Equity Ownership Service Associate Director

井口 讓二氏 ニッセイ・アセット・マネジメント株式会社 コーポレート・ガバナンス・オフィサー

鷹羽 美奈子氏 MSCI Inc. ESGリサーチ シニアアナリスト

森澤 みちよ氏 国連責任投資原則(PRI) ジャパンディレクター

森 洋一氏 公認会計士

主 催 株式会社エッジ・インターナショナル

後 援 日本IR協議会

お申込み

参加ご希望の方は、氏名、会社名、所属部署、役職、Eメールアドレス、電話番号を明記の上、seminar@edge-intl.co.jpまでお申し込みください。(尚JIRAの会員企業様はその旨、合わせてお知らせください。) 折り返し、振り込み先などをご連絡致します。お問い合わせ先 03-3403-7750 (株式会社エッジ・インターナショナル セミナー事務局:松野、永田)

ごあいさつ (10分)	13:30-13:40	変わりつつある企業と投資家の関係 株式会社エッジ・インターナショナル 代表取締役 梶原 伸洋
講演Ⅰ (20分)	13:40-14:00	世界におけるESG投資のメインストリーム化の進展 国連責任投資原則(PRI) ジャパンディレクター 森澤 みちよ氏 国連責任投資原則(PRI)事務局が2010年にジャパンネットワークを創設するにあたり、ジャパンディレクターを同年より担当する。CDP(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)事務局ジャパンディレクター兼務。シティバンク等で金融機関間決済リスク削減業務に従事した後、2003年より環境学の研究を開始。東京大学博士(環境学)。 国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)の概要 機関投資家が環境・社会・ガバナンス(ESG)の課題を投資の意思決定プロセスに取り込み、受益者のための長期的な投資成果を向上させることを目的として、2006年4月にアナン元国連事務総長によって提唱された原則。同原則に署名する約1,300の機関投資家等の運用資産総額は約45兆ドルで、東京証券取引所の時価総額の約10倍規模。
講演Ⅱ (40分)	14:00-14:40	長期投資家の企業価値評価視点と日本企業への期待Ⅰ Hermes Fund Managers Limited / Equity Ownership Service Associate Director カリン・リー氏 野村証券(東京)やモルガンスタンレー東京支店でのアナリスト業務を経て、2005年にHermes Fund Managers(London)に入社。Hermesでは、責任投資活動をリードするとともに、日本・アジア地域の企業を担当。コーポレートガバナンスやエンゲージメント対応を主業務に、経営戦略やリスク・マネジメント、ESGに関する企業との対話に取り組んでいる。大阪大学/経済学修士、University of California, Los Angeles (UCLA)/MBA。 Hermesの概要 英通信大手プリティッシュ・テレコムの子会社である英国の機関投資家。長期の株式運用をベースに、企業経営者との対話を重視した「責任ある投資活動」を提唱している。2014年3月末の運用資産はUS\$44.8 billion(約4兆5千億円)。またHermesは、Equity Ownership Services(“Hermes EOS”)を通して、欧州大陸やカナダ、オーストラリアなどのグローバル運用を行う長期志向の機関投資家向けにESG投資政策やエンゲージメントに関するアドバイスをを行っている。当アドバイス下にある資産の総額は、2014年3月末でUS\$171 billion(約17兆円)に達する。
休憩10分		
講演Ⅲ (30分)	14:50-15:20	長期投資家の企業価値評価視点と日本企業への期待Ⅱ ニッセイ・アセット・マネジメント株式会社 コーポレート・ガバナンス・オフィサー 井口 譲二氏 日本生命入社後、マクロエコノミストとして従事。2000年からニッセイ・アセット・マネジメントにて株式調査/運用業務を担当。金融、素材セクターのアナリストを経て2006年から投資調査室長。2012年より現職。日本証券アナリスト協会企業会計委員、企業会計基準委員会専門委員(企業結合)、年金SRI研究会委員、企業報告研究会企画委員、アニュアルレポート審査委員(日経)などを務める。著作に「非財務情報(ESGファクター)が企業価値に及ぼす影響」(証券アナリストジャーナル2013年8月号)など。 ニッセイ・アセット・マネジメントの概要 ニッセイグループの資産運用力を結集して設立された、長い歴史と実績をもつ資産運用会社。継続性、一貫性を重視した運用による卓越したパフォーマンスの実現、多様なニーズに応えた幅広いラインアップの構築、高品質かつきめ細かなサービスの提供で、顧客から長期にわたる信頼を獲得している。
講演Ⅳ (20分)	15:20-15:40	世界の機関投資家—非財務情報活用の実態 MSCI Inc. ESGリサーチ シニアアナリスト 鷹羽 美奈子氏 KPMGあずさサステナビリティでコンサルタント業務に従事し、その後Vodafone Japan /ソフトバンクモバイルのCSR担当を経て、2007年よりRiskMetrics Group(現MSCI Inc.)にてESGリサーチに従事。現在は、コンシューマーセクターを主に担当する一方、全インダストリーの日本株リサーチの統括を行っている。2002年横浜国立大学大学院国際社会科学部経済学専攻修士課程修了(経営学修士)。 MSCIの概要 資産運用会社・ヘッジファンド・年金基金を含む世界中の投資家向けに、投資意思決定サポート・ツールを提供。提供している商品・サービスは、株価指数、ポートフォリオのリスクやパフォーマンス分析、ガバナンス関係ツールなど多岐にわたる。世界で600以上のクライアント(資産規模15兆ドル)、うち約60のアセットオーナー(資産規模2.3兆ドル)が当リサーチを活用している。
休憩20分		
パネル ディスカッション 及び Q&A (90分)	16:00-17:30	長期志向の投資家を引きつけるIR&レポーティングを考える パネリスト Hermes Fund Managers Limited カリン・リー氏 ニッセイ・アセット・マネジメント株式会社 井口 譲二氏 MSCI Inc. ESGリサーチ 鷹羽 美奈子氏 国連責任投資原則(PRI) 森澤 みちよ氏 モデレーター 公認会計士 森 洋一氏 一橋大学経済学部卒業後、監査法人にて会計監査、内部統制、サステナビリティ関連業務を経験。2007年に独立後、情報開示等に関する助言業務や調査事業に従事。国際統合報告評議会(IIRC)や国際監査保証基準審議会(IAASB)等の技術作業部会にて、企業報告に関する国際フレームワーク開発に参加。日本公認会計士協会研究員。